

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	株式会社SANCYO TANOSHIKA CREATIVE諏訪野町	事業所番号	4012702355
住所	福岡県久留米市諏訪野町1-22 ワカナセントラルプレイス5F	管理者名	小村千尋
電話番号	0942-80-6216	対象年度	令和6年度

利用者の知識能力向上 係 実施概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程 令和7年 3月10日(月)10時~11時 ・場所 TANOSHIKA CREATIVE諏訪野町 ・講義「自己理解、自分のことを知ろう」 ・講義者 合同会社 Dweild 代表 宮本孝之 氏 ・参加者 職員7名 利用者名31名 <p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい:自己理解を深めることで、自分の特性や強み、弱み、価値観、行動パターンなどを理解し、自己を客観視できるようになることを目的としている。</p> <p>利用者にとってのメリット:自己肯定感の向上や不安やストレスの軽減になり、モチベーションの維持や向上となる。自分に合った一般就労やキャリアパスを見つけやすくなっていく。</p> <p><成果></p> <p>実施した結果得られた成果: 自己理解を深めることで、自信が持てるようになり、より良い決断ができ、人間関係も良くなっていく。そして、ストレスにも強くなり、成長の機会も増え、今後、一般就労へチャレンジしていくことが出来る。</p>	<p><活動の様子></p>   
---	--

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>『自己理解』がなぜ必要なのか、『自分を知る』とはどういう意味なのかを利用者、職員と共に学びと気づきの時間としてカリキュラムを実施。自分自身の生きやすさや働きやすさを作るうえでも自己理解とは他者理解であるということ、自分 知ってもらいたいのであれば他者を知ることそれぞれの視点で考えることが必要であることを共に考える時間 して取り組ませていただきました。カリキュラムは『実施すること』が目的ではなくその後の支援のキッカケとして活用してもらいたい。また利用者に対してカリキュラムを行う目的の共有を行うことでより効果を生み出すので丁寧に事案 備を行うように意識してもらいたい。</p>	
連携先企業(担当者)	合同会社Dweild(宮本 孝之)

利用者からの意見・評価

<p>参加した利用者からの意見・評価 実践していく事は、簡単なことではないのですが生きづらさを感じた時にお話を思い出したいと思いますし家族にも少しずつでも伝えることが出来たらいいか自分自身振り返り、どうすれば心が軽くなる生き方ができるか考えていきたいと思ひます。自己理解=自分自身を整理することということに納得が出来ました。今までは自己理解は自分の性格や気持ちを掘り下げて知っていくと思ひていたので、時間をかけて向き合ってきましたが、もっと簡単に自分自身の状況を整理することから始めたらいいと知れて良かったです。</p>
--

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社SANCYO TANOSHIKA CREATIVE 諏訪野町	事業所番号	4012702355
住所	福岡県久留米市諏訪野町1-22 ワカナセントラルプレイス5F	管理者名	小村千尋
電話番号	0942-80-6216	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 活動場所: RAPAS(施設外就労先) 実施日程: 令和6年4月～ 実施した生産活動・施設外就労の概要 データ入力作業、データ確認作業・営業レター確認作業 レター封入作業、封緘作業 利用者数: 毎日14～20名にて 	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>地域で働くことで相互理解を持って、共に働き共に学ぶことが出来る。施設外での作業に従事することで、環境の変化の経験や外部とのつながりを得ることで、刺激にもつながっていく。</p>	
<p><成果></p> <p>施設内の業務以外にも経験することで、本来施設内ではできない経験につながっていく。 営業レターの確認作業の中で、確認方法の工夫であったり、書き手によって変わる癖などをチェックしていくことで、柔軟な判断を求められる。そのため臨機応変なチェックや判断が苦手な方もチェックに携わることで練習することができています。 データの確認作業などは、責任を持って取り組むことで、失敗や成功が蓄積されて自信につながっていく。 施設内であれば専門的な作業が多いが、従事することが難しい方にも作業に取り組むことで、働いている実感を得ることができる。</p>	 <p>【作業風景】</p>

連携先の企業等の意見または評価			
<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>手紙の検品業務をお願いして2年ほど経ちます。本年度も昨年度と変わらずとても丁寧にミスなくお仕事していただき、弊社としても大変感謝しております。貴施設は他事業所に比べ手紙の検品対応可能通数が多いため、今後とも本業務を継続的に引き受けいただけますと幸甚でございます。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>現在はデータ入力のお仕事の方は一旦中断している状況でございますが、今後も弊社としてはデータ入力業務のお仕事の方お引き続きご依頼させていただきたいと存じておりますので、再開の目途等ございましたらお知らせ頂きますと幸いです。</p>			
連携先企業名	株式会社RAPAS	担当者名	伊藤